

(添付資料)

大飯発電所敷地内F－6破砕帯の追加調査
実施計画書

平成24年7月25日

関西電力株式会社

目次

1. 概要 1
2. 実施内容 1
3. 実施工程 1

1. 概要

当社は、平成 18 年 9 月 19 日付けで原子力安全委員会により「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」が改訂されたことに伴い、原子力安全・保安院（以下「保安院」という。）による「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」等の改訂に伴う既設発電用原子炉施設の耐震安全性の評価等の実施について（平成 18・09・19 原院第 6 号 平成 18 年 9 月 20 日）に基づき、改訂された耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設の耐震安全性評価（以下「耐震バックチェック」という。）を実施している。

これまでに、敷地周辺及び敷地の活断層評価、基準地震動 S_s の策定及び主要な施設の耐震安全性評価については、平成 20 年 3 月 31 日に保安院に耐震安全性評価結果中間報告書を、平成 21 年 3 月 31 日に中間報告書（追補版）を提出し、国による審議を経て、平成 22 年 11 月 25 日に保安院に「耐震安全性評価結果（原子力安全・保安院での審議状況の反映）」を提出し、平成 22 年 11 月 29 日に「耐震安全性に係る評価について（基準地震動の策定及び主要な施設の耐震安全性評価）」を受領した。

その後、保安院は、耐震バックチェックの一環として、全国の原子力発電所敷地内の破砕帯について評価を改めて整理することとし、平成 24 年 7 月 17 日、第 19 回地震・津波に関する意見聴取会において、大飯発電所の敷地内における F-6 破砕帯の活動性について、専門家からの意見を聴取した結果、活断層であるとの指摘は無かったものの、その活動性を完全に否定するためには現状の資料では十分でなかったことから、念のため現地での直接確認が必要との判断のもと、保安院から「敷地内破砕帯の追加調査計画の策定について（指示）」（20120718 原院第 1 号 平成 24 年 7 月 18 日）（以下「指示文書」という。）により、大飯発電所の敷地内破砕帯に関する追加調査の指示が出された。

本計画書は、「指示文書」に基づき、当社が実施する大飯発電所敷地内における F-6 破砕帯の追加調査の計画についてとりまとめたものである。

2. 実施内容

当社に対して指示された下記の調査を実施する。

- ① F-6 破砕帯の性状を直接確認するための調査
- ② F-6 破砕帯の長さを確認するための調査

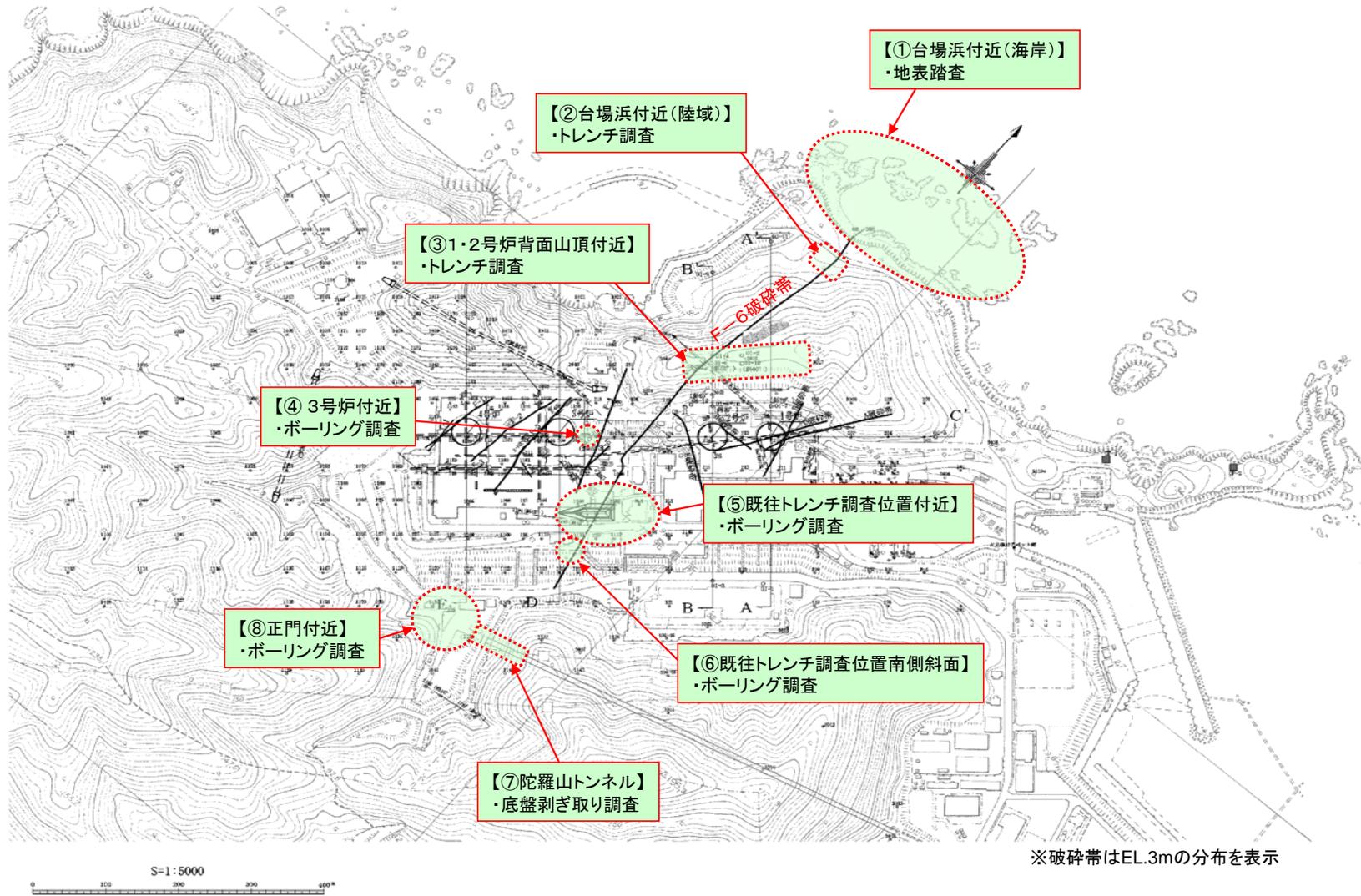
追加調査計画位置図を図-1 に、追加調査計画の概要を表-1 に示す。

3. 実施工程

F-6 破砕帯の追加調査の実施工程を表-2 に示す。

なお、調査内容、工程は、調査の状況によって変更となる場合がある。更なる工程短縮について、継続して検討していく。

以上



図－1 追加調査計画位置図

表—1 追加調査計画の概要

調査計画位置	調査項目	ポイント	調査内容
①台場浜付近(海岸)	地表踏査	連続性の評価	沖合いの岩礁及び海岸沿いの露頭における破砕帯の有無を確認。
②台場浜付近(陸域)	トレンチ調査	連続性・活動性の評価	F-6破砕帯による上載層への変位・変形の有無を確認し、上載層の年代測定を実施。
③1・2号炉背面山頂付近	トレンチ調査	連続性・活動性の評価	ブロックサンプリングによる変形組織の観察により活動性を評価。
④3号炉付近	ボーリング調査	連続性・活動性の評価	ボーリングコアによる変形組織の観察により活動性を評価。
⑤既往トレンチ調査位置付近	ボーリング調査	連続性・活動性の評価	既往トレンチ調査実施箇所は構造物が設置されており、トレンチ調査壁面における破砕帯を直接観察することは不可能。 ボーリング調査により既往トレンチ調査実施箇所の深部延長部で試料を採取し、ボーリングコアによる変形組織の観察により活動性を評価。
⑥既往トレンチ調査位置南側斜面	ボーリング調査	連続性・活動性の評価	ボーリングコアによる変形組織の観察により活動性を評価。
⑦陀羅山トンネル	底盤剥ぎ取り調査	連続性・活動性の評価	破砕帯の有無を確認。破砕帯が認められた場合はブロックサンプリングによる変形組織の観察により活動性を評価。
⑧正門付近	ボーリング調査	連続性・活動性の評価	破砕帯の有無を確認。破砕帯が認められた場合はボーリングコアによる変形組織の観察により活動性を評価。

※調査内容は、調査の状況によって変更となる場合がある。

表－2 追加調査の実施工程

調査計画位置	調査項目	平成24年				
		8月	9月	10月	11月	12月
意見聴取会報告	—	計画承認		中間報告		最終報告
準備(許認可含む)	—					
①台場浜付近(海岸)	地表踏査					
②台場浜付近(陸域)	トレンチ調査					
③1・2号炉背面山頂付近	トレンチ調査					
④ 3号炉付近	ボーリング調査					
⑤既往トレンチ調査位置付近	ボーリング調査					
⑥既往トレンチ調査位置南側斜面	ボーリング調査					
⑦陀羅山トンネル	底盤剥ぎ取り調査					
⑧正門付近	ボーリング調査					
総合評価	—					

準備
 調査
 分析・評価

※調査内容、工程は、調査の状況によって変更となる場合がある。更なる工程短縮について、継続して検討していく。